私たちが、未来を"化える"





より良い未来に 化えるため、 ISK は、もっと前に。

毎日の食と健康を支える。

世界に一つだけの花色を届ける。

美しい白色で暮らしを彩る。

私たちには、誰の心にも残る唯一無二の化学技術があります。

それは、心豊かな生活に無くてはならないものです。

より良い未来に向けて、変化を恐れることなくもっともっと前へ。

私たちは、化学の力であらゆる分野の進化に挑戦し続けます。

パーパス

化学技術でより良い生活環境の 実現に貢献し続ける

ISKの3つの強み



2

独自の技術開発力

もっと! One&Only な 安心や快適を創る



世界の食卓へ 安心・安全をお届けしたい

私たちは人や動物、環境にやさしい農薬の研究開発に力を注い でいます。薬剤が各国で登録を取得するためには、厳格な安全 性評価をクリアしなければなりません。近年ますます注目され る「生物農薬」や、新しい農業資材「バイオスティミュラント」の 活用が進むことで持続可能な農業生産を支え、人々に安全で 安定した食物供給を行っていきます







青いコチョウランで、 驚きの贈り物

特別な贈り物として選ばれるコチョウランには、天然の青 色は存在しませんでした。「心惹かれるような、青が美しい コチョウランをつくってみたい」研究者たちの自由な発想 からスタートし、実に17年もの月日をかけて誕生した世 界初の青色コチョウラン「Blue Gene® (ブルージーン)」 が、今日もどこかでサプライズをお届けしています。



暮らしを快適にする「美しい白」

すべての色の基礎となる白色ですが、数ある白色顔料を代表するのが酸化 チタンです。私たちの酸化チタンは、住宅や自動車をはじめとする工業製 品や化粧品、化学繊維、医薬品などの幅広い分野で活躍しています。ます ます高まる品質や付加価値へのニーズに応えながら、「美しい白」で人々の 暮らしをもっと快適にします。 ※2024 年 4 月現在、当社調べ

酸化チタン国内生産量



快適な

住環境

無機

化学





より良い生活を生み出す イノベーション

スマートフォンやパソコンなどの電子機器は、次から次へ と「高機能・高精度・小型化」が求められています。これら の電子機器に欠かせない電子部品「積層セラミックコンデ ンサ(MLCC)」の原料として活躍するのが、私たちの高純 度酸化チタンです。電子部品のさらなる高性能化・小型化 を支え、人々の生活に革新的な製品をお届けします。

高純度酸化チタン

E99.99%

元気な愛犬に寄り添う気持ちで

近年、食生活の変化や診断技術の向上などにより、犬の膵炎の症例が増えていま す。犬の膵炎は重症化すると合併症などを引き起こす可能性があり、早期の発見と 適切な治療がとても大切です。しかし、動物用医薬品は人間用に比べて種類が少な いのが現実です。そこで私たちはこの病気と闘うため、世界初となる犬膵炎急性期 用抗炎症剤を開発しました。私たちの使命は、世界中のコンパニオンアニマルとそ の家族がより健康で幸せな日々を送れるよう、動物用医薬品の研究開発を続けるこ とです。これからもイノベーションを追求し、生活の質向上に貢献していきます。





環境課題にもソリューションを次々と

快適と省エネ、CO2削減を両立する住環境づくりに、酸化チタンで培った技術 をもとに開発した遮熱材料が活躍しています。また、酸化チタンの製造プロセ スから生じる副生成物をムダなく活用し、土壌や地下水への環境改善に貢献 しています。私たちはこれからも独自の技術開発力で環境課題を解決し、安 全・安心な暮らしを実現していきます。

水。北。次氯 オンリーワンの技術力





もっと! 独創技術で未来を拓く



私たちの製品は、有機化学、無機化学の両分野で国内外から高い評価を得ています。これらの製品に発揮さ れる私たちの強み、それは高い付加価値を生み出すことのできる独自の技術開発力です。創業より積み重ね てきたこの強みを活かし、新たな価値の創造に積極的にチャレンジしています。有機化学の分野では、遺伝子 組み換え技術をはじめ、世界の人々の食や、コンパニオンアニマルの健康、生命を支える製品の研究開発に力 を注ぎます。無機化学の分野では、微粒子合成技術を中心に、酸化チタンで培った技術をもとに環境と情報 化社会を支える製品の研究開発を進め、サステナブルな社会づくりに貢献していきます。

先進的な研究開発に挑む

中央研究所(滋賀県草津市)

40,000 ㎡という比較的コンパクトな敷地の中に農薬の研究 開発に関するすべての機能を備えています。近年では、バイオ 技術を用いた花卉分野の開拓や、コンパニオンアニマルのへ ルスケアに貢献するための研究開発にも力を注いでいます。 また、新たな分野での事業創出を目指し積極的にチャレンジ しています。

技術 開発 遺伝子 組み換え 有機化学

有機合成

粒子形状

機能性付与 無機化学

微粒子合成

世界で一番低コストな農薬製造を追求

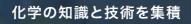
2025 年 12 月 稼働予定

ひょうご小野研究センター(兵庫県小野市)

海外委託製造の低コスト化と安定化を目的とした生産技術の研 究施設です。ものづくり技術の進化を通じて、農薬の安定供給と 「世界一の低コスト製造」を実現し、世界での市場シェア拡大を 目指します。







技術研究所(三重県四日市市)

無機化学製品の研究開発を担うのがこの技術研究所です。新 たな技術の探索、新製品の開発や既存製品の応用開発、生産 技術の向上などを手掛け、技術人財の育成機関としての役割も 果たしています。また、研究開発に携わる人材のおよそ2割が 生産技術を専門とし、四日市工場における世界トップレベルの 生産体制を支えています。

技術者・研究者を鼓舞するしくみ

研究開発型メーカーである私たちにとって、技術開発を担う技術者、研 究者は競争力と成長力の源泉です。このため技術研究者のスキルアッ プと、業績への貢献や社業の発展に寄与することを目的として、技術 者・研究者をサポートする各種制度を設けています。





特別功労者

1級 20,000,000円 2級 10,000,000円 3級 5,000,000円



環境配慮の両立



私たちはお客様の期待に応える高品質な製品の安定供給と、期待 を超える製品開発を目指しています。そのために4M(Man, Machine, Material, Method) の適切な管理を徹底し、安定した 工場操業を維持しています。また、品質マネジメントシステム(QM S)を基盤とした継続的な改善活動を推進し、品質向上に努めるこ とで信頼される製品づくりを実現しています。さらに、環境マネジ メントシステム(EMS)を導入し、事業活動における環境負荷の低 減や環境に配慮した製品の開発にいち早く取り組んできました。酸 化チタンの製造では環境負荷の少ない国内唯一の製法で産業廃 棄物の削減を推進しています。また、世界の業界に先駆けた総合排 水処理施設では、1日あたり200,000トンの排水能力で水資源 の保全に努めています。工場の入口には環境情報標示板を設置し ており、環境情報をタイムリーに公開し来場者や従業員の環境意 識向上に役立てています。

「品質」と「環境」のマネジメントシステムを統合し一体的に運用す ることで、品質向上と環境配慮の両立を目指します。ステークホル ダーとの積極的なコミュニケーションを通じて、求められる品質向 上と環境保全を実現していきます。



人財の育成と

なげることが狙いです。

ものづくり力の伝承

私たちが挑むのは、世界で最もコストパフォーマンスの高いものづ くりと安定供給の実現です。ひょうご小野研究センターは、中央研 究所で開発した農薬などの新製品のスケールアップや、これまでの 製品の製法を改善してコストダウンするための研究を担います。 農薬事業では海外委託製造を中心にものづくりを行っており、ここ で蓄積した製造技術や試験データをもとに、新規剤では商業設備 での立ち上げをスムーズにし、また、既存剤では新たな製造プロセ スを開発し委託先へ早期に技術移管することで、コストダウンにつ

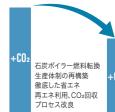
この挑戦の原動力となるのは、人です。この施設では、よりスケール の大きいものづくりを若手の社員に経験させることができます。世

界の農作物の安定生産に貢献するために、世界規模の経験を通じ

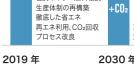
て人財を育て、ものづくり力を伝承していきます。

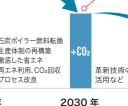
CO₂排出量削減 ロードマップ

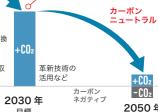




基進年







Column サステナビリティ:環境への取り組み

持続可能な地球環境と社会づくりに貢献する

マテリアリティ:気候変動・環境負荷低減 2050 年カーボンニュートラルに挑戦しています

私たちは2050年に向けた通過点として、2030年度までに2019年度比でCO2排出量を30% 削減することを目標に、省エネルギー活動の推進に加え、再生可能エネルギー電力の活用やエ ネルギー負荷の少ない設備の導入など、さまざまな角度から取り組みを進めています。2050 年カーボンニュートラル達成に向けて継続的な取り組みを行い、さらには革新技術の活用など により大幅な削減に挑戦するとともに、脱炭素技術の開発・導入などの検討も進めます。

2050年

グローバルな協業力

もっと! 世界とつながり 未来をより良く

- CERTIS BELCHIM B.V.
- ISK BIOSCIENCES EUROPE N.V.





Others

Asia

• ISK BIOSCIENCES (THAILAND) LTD.

● 石原(上海)化学品有限公司



ISK BIOSCIENCES

KOREA LTD.

• 韓国石原産業株式会社

All w

台湾石原産業股份有限公司





グループ企業を

2024年3月31日現在



- 連結子会社
- 非連結子会社
- 持分法適用関連会社
- 持分法非適用関連会社





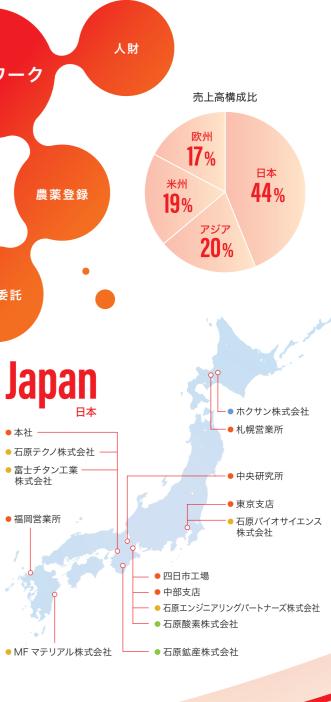


AVC CHEMICAL CORP.









Column サステナビリティ:社会への取り組み

人と人との化学反応を起こし、 社会課題の解決につなげる



マテリアリティ: サプライチェーンマネジメント 社会的責任を果たす購買活動の推進

私たちは事業活動における人権尊重の重要性を 認識し、人権デューデリジェンスを実施していま す。また、購買活動においてガイドラインを作成 し、サプライヤーの CSR 調査を行い、リスク管理 と倫理的な購買活動を推進しています。さらに、 持続可能なパーム油の調達を目的に RSPO 認証 を取得しています。

CSR 調査実施率 2025 年度目標

(取引額ベース)

マテリアリティ:ダイバーシティ&インクルージョン 多様性を認め、活かせる職場づくり

私たちは「人財」を企業の競争力の源と 考え、会社と社員が共に成長することを 目指しています。研修などの取り組みを 通じて、多様性を尊重する組織文化を育 て、さまざまな価値観や背景を持つ人々 がそれぞれの能力を十分に発揮できる 職場づくりを進めています。

(2023年度実績)

マテリアリティ: DX 推進、業務効率化による働き方改革 AI 技術を活用した DX 推進による事業基盤強化

私たちは AI 技術を活用して会社全体 のDXを進めています。DXを推進す ることで、お客様や社会の多様なニー ズに対応し、ビジネス環境の変化に適 応しながら、既存事業の拡大と新規事 業の創出を通じて、事業基盤のさらな る強化を目指しています。



DX マインドセット研修の様子

100100年先も。

1920 年から続く挑戦。 鉱山から化学へ。そして…

100年を越える私たちの歩みは、マレー半島で鉱山開発を事業化したことから始まりました。創業から世界を舞台に数々の難題に挑み、戦後も立ち止まることなく「無機化学」と「有機化学」の二刀流で事業を展開し化学メーカーとしての地歩を確立。時代のニーズに合わせて柔軟にビジネスを変化させながら世界に新たな価値を提供し成長してきました。その根底にあるのは、創業者に端を発し今なお受け継がれる挑戦心です。未来のより良い社会に貢献していくために、50年先、100年先、さらにもっと先を見据えて、創業時から続く挑戦心のもと、社会が求める価値ある製品を生み出し続けます。



スリメダン鉱山の採掘現場(1921年)



創業者 石原廣一郎



ISK 石原産業株式会社

会社概要 (2024年3月31日現在)

商 号 石原産業株式会社

英文商号 ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD.

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目 3 番 15 号 TEL: 06-6444-1451 (総務部)

創 業 1920年9月10日

設 立 1949年6月1日

資 本 金 43,420,548,178円

従業員数 (連結)1,813名(単体)1,146名

本社・中央研究所・四日市工場・東京支店・中部支店・札幌営業所・福岡営業所・ アルゼンチン支店・シンガポール支店 ホームページ



会社案内

